

**御南学区防災訓練、避難所運営訓練に参加して**

取材 広報渉外部 高塚由利子

11月23日(火・祝日)、御南小学校を会場に開かれました。参加人数は370名。

**1. 避難所設置訓練及び防災訓練 場所設置 (本部役員担当者)**

**2. 避難路確認訓練 (参加者)**

避難路を確認し会場へ↓体調確認 (検温・手指消毒) ↓校庭集合。

**3. 防災訓練、避難所運営訓練**

**(1) 開会式 (進行 澤井会長)**

挨拶 市議会議長 和気 健さん

日本赤十字社 前田指導員

**(2) 講話** 岡山西消防署 森野係長

**① 消防の役割**

火災消火、救助等、応急対策を図り、災害対策本部の要請に応じて補助をする。消防署が対策本部が依頼先を理解し、ご協力願いたい。

**② 対策**

台風、風水害は予報による対策はできるが、地震は予期できない。

災害に備え日頃から対策に努める。

**③ 訓練は何のために?**

できないことを可能にするために訓練する。行うことで身に付く。

**(3) 防災訓練・避難所運営訓練**

**A. 災害時実働体験**

**① 避難者受付訓練**

安否確認や円滑な集団生活の為、「避難所利用者登録票」に記入。

**② マンホールトイレ設置訓練**

令和元年、岡山市初で御南小に整備。マンホールの仕組みを理解し、設置と解体を行いました。

**③ 地震体験車(震度6を体感)**

とっさの身の安全確保、家の中の対策は日頃から取り組みが重要。



**④ 煙道体験(スモークマシーン)**

火災は煙による一酸化炭素中毒などで死亡する事が多い。口を覆い、姿勢を低くして逃げる。

**⑤ 初期消火訓練(水消火器)**

火元に狙いを定めて初期消火。炎が大きければ逃げることを優先。住宅用火災報知器の設置も必須。



**⑥ 負傷者搬送訓練(簡易担架)**

棒2本と毛布で担架が完成。毛布の折り込み方を覚えておこう。

**⑦ 土のう積み/簡易トイレ設置**

土のう袋に砂を半分程詰め、袋の紐を縛る。平たくして交互に積んだ袋の底側が壁になるように整える。ブルーシートを折り込むとより効果的。テントで囲う簡易トイレの説明も受けました。

他に体育館内でワンタッチテント及び簡易ベッドを組み立てました。町内会毎7グループで①〜⑦をローテーションして実施しました。

**B. 救急法/一次救命処置講義、心肺蘇生(胸骨圧迫のみ)**

各町内代表者(田中野田は光延さん、高橋さん、正信さん)が受講。いざという時、救命処置で命がながります。ぜひ、体得を。

**◆ 自主防災活動について**

地域の体制を作り、災害発生時には避難誘導や声掛け、救出・救護、避難所の運営など地域住民が協力して自主的な活動を行います。田中野田町内会にも組織があります。

**◆ 避難所の運営は避難者自ら**

近年の大規模災害発生の際から、行政主体の避難所運営は難しく、良好な生活のためにも避難者自らによる主体的な運営が大切です。

**◆ 御南学区避難場所兼避難所:**

御南小学校、御南中学校、御南西公民館、西小学校

避難場所: OSK西バイパスこども館、県立岡山西支援学校

※笹ヶ瀬川が危険な場合は川を渡らず、安全な避難場所へ。

**◆ 御南学区連合町内会(11町内会)**

今保(東町・西町・中町・南町・新保)、岡山鉄工センター共同住宅、久米、西長瀬、田中、田中野田、田中地先。